

2010年7月1日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社  
アルフレッサ ホールディングス株式会社

## **うつ病・うつ状態治療剤/遺尿症治療剤 「トフラニール<sup>®</sup>錠」の製造販売移管について**

ノバルティス ファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三谷 宏幸）が製造販売するうつ病・うつ状態治療剤 / 遺尿症治療剤「トフラニール<sup>®</sup>錠 10mg、同錠 25mg」について、アルフレッサ ホールディングス株式会社の完全子会社で、医薬品等製造事業を行うアルフレッサ ファーマ株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：岩谷 健一郎）が製造販売を承継し、本年 8 月下旬を予定として製造販売移管することとなりましたのでお知らせいたします。

承継後は、アルフレッサ ファーマ株式会社が製造販売及び情報提供活動を行います。

今回の製造販売移管は、経営資源をより一層注力製品に集中させたいノバルティス ファーマ株式会社と中枢神経系領域での製品の拡充を図りたいアルフレッサ ファーマ株式会社の意向が合致したことから実現したものです。

### **ノバルティス ファーマ株式会社について**

ノバルティス ファーマ株式会社は、スイス・バーゼル市に本拠を置くヘルスケアにおける世界的リーダー、ノバルティスの医薬品部門の日本法人です。ノバルティス グループ全体の 2009 年の売上高は 443 億米ドル、研究開発費は 75 億米ドルでした。ノバルティスは、約 100,000 人の社員を擁しており、世界 140 カ国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください。<http://www.novartis.co.jp>

### **アルフレッサ ホールディングス株式会社について**

アルフレッサ ホールディングス株式会社は、医薬品等卸売事業および医薬品等製造事業等を行うグループ会社の持ち株会社です。2010 年 3 月期の連結売上高は 2 兆 592 億円、連結の従業員数は 10,650 名です。詳細はインターネットをご覧ください。<http://www.alfresa.com/>

### **アルフレッサ ファーマ株式会社について**

アルフレッサ ファーマ株式会社は、アルフレッサグループの製造事業会社で「予防」「診断」「治療」の医療プロセスを総合的に見据え、医薬品、診断薬、医療機器を柱に事業展開しております。2010 年 3 月期の売上高は 259 億円、従業員数は 667 名です。詳細はインターネットをご覧ください。<http://www.alfresa-pharma.co.jp/>

以上

### **お問い合わせ先**

ノバルティス ファーマ株式会社 広報部 企業広報室  
TEL 03-3797-5568 FAX 03-3797-4367  
E-mail [japan.novartiscommunications@novartis.com](mailto:japan.novartiscommunications@novartis.com)

アルフレッサ ホールディングス株式会社 財務企画部 広報 IR 室  
TEL 03-5219-5102 FAX 03-5219-5103  
E-mail [ir@alfresa.com](mailto:ir@alfresa.com)

## 参考資料

### 製品概要

#### 製品名

トフラニール®錠 10mg (Tofranil® Tablets 10mg)

トフラニール®錠 25mg (Tofranil® Tablets 25mg)

#### 一般名

イミプラミン塩酸塩 (Imipramine Hydrochloride)

#### 成分・含有量

10mg 錠：1 錠中イミプラミン塩酸塩（日局）10mg

25mg 錠：1 錠中イミプラミン塩酸塩（日局）25mg

#### 効能・効果

精神科領域におけるうつ病・うつ状態

遺尿症（昼・夜）

#### 用法・用量

##### 10mg 錠

うつ病・うつ状態治療の場合：

イミプラミン塩酸塩として、通常成人 1 日 30～70mg を初期用量とし、1 日 200mg まで漸増し、分割経口投与する。まれに 300mg まで増量することもある。

なお、年齢、症状により適宜減量する。

遺尿症治療の場合：

通常学童は 1 日量 30～50mg を 1～2 回経口投与する。

ただし、症状及び年齢に応じ適宜増減する。

##### 25mg 錠

うつ病・うつ状態治療の場合：

イミプラミン塩酸塩として、通常成人 1 日 25～75mg を初期用量とし、1 日 200mg まで漸増し、分割経口投与する。まれに 300mg まで増量することもある。

なお、年齢、症状により適宜減量する。

遺尿症治療の場合：

通常幼児は 1 日量 25mg を 1 回、学童は 1 日量 25～50mg を 1～2 回経口投与する。

ただし、症状及び年齢に応じ適宜増減する。

#### 薬価

10mg：1 錠 9.6 円

25mg：1 錠 10.6 円

#### 製造販売

ノバルティス ファーマ株式会社